

(1) リハビリテーション医療事業

A 入退院患者の状況

(単位：人)

平成 27 年度末 入院患者数	平成 28 年度 入院患者数	平成 28 年度 退院患者数	平成 28 年度末 入院患者数
86	340	340	86

ア 平均入院日数

(単位：日)

	男性	女性	合計
平成 28 年度	86.5	92.1	88.1
平成 27 年度	85.1	88.4	86.2
増 減	1.4	3.7	1.9

イ 退院先

平成 28 年度	自宅	病院	その他	合計
退院患者数 (人)	265	47	28	340
構成割合 (%)	78.0	13.8	8.2	100

<参考>

平成 27 年度	自宅	病院	その他	合計
退院患者数 (人)	255	54	22	331
構成割合 (%)	77.0	16.3	6.7	100

ウ 入院患者の疾患別内訳

平成 28 年度	脳血管 障害	神経系 疾患	外傷性 疾患	骨関節 疾患	その他	合計
患者数 (人)	232	31	51	7	19	340
構成割合 (%)	68.2	9.1	15.0	2.1	5.6	100

<参考>

平成 27 年度	脳血管 障害	神経系 疾患	外傷性 疾患	骨関節 疾患	その他	合計
患者数 (人)	238	32	45	10	14	339
構成割合 (%)	70.2	9.5	13.3	2.9	4.1	100

エ 平均年齢

(単位：歳)

平成 28 年度	男性	女性	合計
入院患者平均年齢	58.7	64.6	60.5

<参考>

(単位：歳)

平成 27 年度	男性	女性	合計
入院患者平均年齢	62.5	63.0	62.7

オ 主な保健医療圏別患者数

平成 28 年度	盛岡	岩手 中部	宮古	二戸	気仙	釜石	胆江	その 他	合計
患者数 (人)	142	56	27	19	11	13	39	33	340
構成割合 (%)	41.8	16.5	7.9	5.6	3.2	3.8	11.5	9.7	100

※その他の内訳：久慈 10 人、両磐 8 人、県外 15 人

<参考>

平成 27 年度	盛岡	岩手 中部	宮古	二戸	気仙	釜石	胆江	その 他	合計
患者数 (人)	149	47	44	24	10	9	30	26	339
構成割合 (%)	44.0	13.9	13.0	7.1	2.9	2.6	8.8	7.7	100

※その他の内訳：久慈 10 人、両磐 4 人、県外 12 人

B 外来患者の状況

平成 28 年度	常設診療科	非常設診療科							
		泌尿器科	耳鼻咽喉科	眼科	歯科	循環器内科	糖尿病代謝内科	精神科	計
患者数 (人)	4,608	726	70	75	957	244	190	0	2,262

<参考>

平成 27 年度	常設診療科	非常設診療科							
		泌尿器科	耳鼻咽喉科	眼科	歯科	循環器内科	糖尿病代謝内科	精神科	計
患者数 (人)	5,165	685	58	72	1,691	254	221	0	2,981

C 患者数の状況

ア 入院患者及び常設診療科外来患者の状況

(単位：人)

区 分		平成 28 年度	平成 27 年度	増 減	備 考
入 院	延患者数	30,291	28,600	1,691	平均在院日数の増
	1日平均患者数	83.0	78.1	4.9	
外 来	延患者数	4,608	5,165	△557	介護系サービスへ移行
	1日平均患者数	19.0	21.3	△2.3	

イ 非常設診療科外来患者の状況

(単位：人)

区 分	平成 28 年度	平成 27 年度	増 減	備 考
泌尿器科	726	685	41	初診患者増
耳鼻咽喉科	70	58	12	診療日数増(24←22日)
眼 科	75	72	3	診療日数増(22←19日)
歯 科	957	1,691	△734	処置・再来患者減
循環器内科	244	254	△10	初診患者減
糖尿病代謝内科	190	221	△31	対象患者減
精神科	0	0	0	休診中

D 訪問事業の状況

平成 28 年度	訪問リハビリ	訪問看護
実利用者数 (人)	41	10
延訪問回数 (回)	2,205	402

<参考>

平成 27 年度	訪問リハビリ	訪問看護
実利用者数 (人)	44	8
延訪問回数 (回)	2,060	292

E 通所事業の状況

平成 28 年度	通所リハビリ
実利用者数 (人)	5
延利用回数 (回)	144

※平成 28 年 6 月に事業開始のため前年度の実績なし。

F 市町村等への情報提供

地域で連続して保健指導や各種のサービスが受けられ、生活の確保が出来るように支援するため、退院時診療情報提供票、退院時看護要約、機能回復療法部報告書を居宅介護支援事業所等と市町村に情報提供を行った。

平成 28 年度	147 件
平成 27 年度	102 件

(2) 地域支援事業

A 市町村支援事業

要請の市町村への支援

①一関市運動器の機能向上プログラム委託事業所への講師派遣

派遣回数1回、派遣職員数2人、被指導者数48人

②滝沢市高齢者大学教養講座への講師派遣

派遣回数1回、派遣職員数2人、被指導者数40人

③盛岡市介護予防ボランティア養成講座への講師派遣

派遣回数1回、派遣職員数3人、被指導者数15人

④奥州市ケアマネジメント支援研修会への講師派遣

派遣回数1回、派遣職員数2人、被指導者数96人

⑤田野畑村介護予防ボランティア養成講座への講師派遣

派遣回数1回、派遣職員数2人、被指導者数18人

⑥普代村介護予防教室への講師派遣

派遣回数3回、派遣職員数延10人 被指導者数延57人

⑦一戸町介護支援専門員等支援会議研修会への講師派遣

派遣回数1回、派遣職員数3人、被指導者数20人

⑧紫波町介護予防教室への講師派遣

派遣回数2回、派遣職員数延3人、被指導者延47人

⑨大船渡市介護予防教室への講師派遣

派遣回数1回、派遣職員数2人、被指導者10人

B 地域リハビリテーション関係職員研修会

県内保健医療圏毎に地域リハビリ関係者に対し研修会を実施

開催回数5回、派遣職員数延47人 被指導者数延168人

C リハビリテーション情報の提供

リハビリテーション活動の紹介や最新情報を掲載した情報誌「ななつもり」を3ヵ月に1回ホームページ上に掲載し、発信した。

D 広域支援センター支援事業

・地域リハビリテーション広域支援センター連絡協議会を2回開催（7月19日、3月14日）

・広域支援センター、保健所等との連絡調整、話題提供等

9圏域、13回、従事職員数延25人（盛岡北部4回、胆江2回、他二戸以外各1回）

E 介護予防研修会

介護予防事業者を対象に身体機能評価等を中心に「運動器の機能向上プログラム」の基本知識とトレーニング技術等の研修を基礎編と被災地編に分け実施した。

実施回数2回、従事職員数延23人、被指導者数延108人

F シーティング事業

車イス等の利用者が、座位姿勢を適切に保持することにより、機能的な身体活動を行い、種々の合併症を予防する上で重要なシーティングの専門的知識や技術を県内に普及する事を目的として助言等を行った。

・岩手中部広域支援センター主催関係職員研修会への講師派遣

派遣回数1回、派遣職員数3人、被指導者数22人

G 高次脳機能障害者支援普及事業

県内の支援拠点機関としての支援体制の整備を図り、専門的な相談支援及びサービスを提供

・相談支援コーディネーター4名及び地域支援コーディネーター4名（兼任）配置し、専門的な相談支援及び関係機関との連絡調整を行った。

相談件数延べ1,042件、実人数93名

・支援ネットワーク構築のための連絡協議会の開催

2回開催、出席者数延べ49人

H 被災地高齢者リハビリテーション支援事業

各関係機関と連携し被災地支援活動を行った。

・支援回数42回、従事職員数延166人、被支援者数延393人

I シルバーリハビリ体操指導者養成事業

高齢者を対象に体操指導者を養成し、モデル3町に更に4市町村を加え、地域住民が運営する介護予防及び通いの場づくり等の円滑な実施の支援を行った。

- ・ 2級指導者養成講習会（4日間）  
開催回数1回、従事職員数延33人、養成数30人
- ・ 3級指導者養成講習会（6日間）  
開催回数4回、従事職員数延141人、養成数91人
- ・ フォローアップ、通いの場評価等  
開催回数36回、従事職員数延68人、被指導者数631人
- ・ 指導者養成事業に係る講演会及び3級指導者交流会  
開催回数1回、従事職員数15人、参加者数120人

(3) 教育研修事業

A 医療従事者対象研修会（保健師、看護師等）

- ・ 呼吸リハビリテーション研修会（2日間） 開催回数1回、受講者数延18人
- ・ 高齢者保健福祉施設リハビリテーション研修会（2日間） 開催回数2回、受講者数延100人

B 患者家族教室

お口元気教室、医師講話会、リハビリ教室、栄養教室 開催回数45回、参加者数延551人

C 学生受け入れ

岩手医大歯学部、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等の学生受け入れ  
22校、実75人(延781人)

D リハビリテーションセンター体験学習

ふれあい看護体験 19人、サマーセミナー 4人、インターンシップ 2回、延3人

F 講師派遣

学生講義、施設職員対象研修等 47回、受講者数延2,687人

G 院内職員研修会

開催回数15回、参加者数延884人

- ① 6月22日 テーマ「医療安全研修～一次救命処置について①」  
講師 副センター長 佐藤義朝、医療社会事業士 小笠原由梨乃
- ② 6月29日 テーマ「平成28年度診療報酬改定からみる回復期リハ病棟の動向」  
講師 センター長 大井清文
- ③ 7月5日 テーマ「医療安全研修～一次救命処置について②」  
講師 診療科長 村上英恵、医療社会事業士 小笠原由梨乃
- ④ 7月19日 テーマ「感染性廃棄物～その判断と取扱いについて～」  
講師 臨床検査技師 川村将史
- ⑤ 9月14日 テーマ「メンタルヘルスの基礎知識とセルフケア～ストレスとストレス対処～」  
講師 岩手産業保健総合支援センター産業保健相談員 藤井由里
- ⑥ 9月17日 多職種研修会 テーマ「起居動作の改善に向けた評価とアプローチを考える」  
講師 藤田保健衛生大学客員教授 富田昌夫
- ⑦ 9月29日 テーマ「①平成27年度インシデント／転倒転落発生の分析報告  
②院内ホットラインコールについて」  
講師 看護師長補佐 齋藤由利子、主任看護師 吉田裕子、言語聴覚療法科長 阿部信之
- ⑧ 10月19日 テーマ「個人情報適切な取り扱い」  
講師 業務推進課長 山本康典
- ⑨ 10月26日 テーマ「院内感染関連 院内で必要な接触感染予防策について」  
講師 岩手県立中央病院感染管理認定看護師 福田祐子
- ⑩ 12月14日 テーマ「医療施設で働く職員の接遇について」  
講師 西條ユキコ企画室 西條ユキコ
- ⑪ 1月25日 テーマ「災害時の対応」  
講師 業務推進課 村上正晃、理学療法科長 佐藤英雄、作業療法科長 鷹觜悦子
- ⑫ 2月16日 テーマ「グループワーク:入院時カンファレンスで、目標達成プログラムを立案して

下さい①」

司会 多職種研修会実行委員会

- ⑬ 2月23日 テーマ「グループワーク:入院時カンファレンスで、目標達成プログラムを立案して

下さい②」

司会 多職種研修会実行委員会

- ⑭ 3月8日 テーマ「医療倫理について」

講師 岩手大学准教授 音喜多信博

- ⑮ 3月22日 テーマ「H28年度回復期リハ棟活動報告」

講師 主任作業療法士 山本晶子、主任理学療法士 関公輔

#### H 普及啓発

- ①視察者に対するリハビリテーションの普及啓発

民間団体等のセンター視察対応

視察者数 860団体(平成5年10月～平成29年3月) 延べ16,544人 (当年度5団体105人)

- ②いわてリハビリテーションフォーラム

一般県民に対するリハビリテーションの普及啓発

開催日 平成28年10月16日(日) 場所 アイーナ 来場者数 237人

#### (4) 調査研究事業

医学的リハビリテーション技術の向上と障害者の福祉の向上を図るため、調査研究事業を行っている。

<研究内容>

A 平成28年度研究発表業績

ア 診療部

1. 多系統萎縮症(MSA-C)の嚥下障害に対し、高解像度マノメトリー所見をもとにリハビリを行った一例  
第53回日本リハビリテーション医学会学術集会 京都府京都市 2016年6月9日  
○佐藤義朝、大井清文、高橋 明、村上英恵、村田深雪
2. 「岩手県シルバーリハビリ体操3級指導者養成事業」の取り組みについて  
第53回日本リハビリテーション医学会学術集会 京都府京都市 2016年6月9日  
○大井清文、佐藤義朝、高橋 明、村上英恵、村田深雪
3. 入院早期から完全側臥位法を継続することで、退院後に3食経口摂取が可能となったWallenberg症候群の1例  
第1回岩手神経内科症例研究会 岩手県盛岡市 2016年6月18日  
○佐藤義朝、大井清文
4. 高解像度マノメトリーにより、咽頭期障害による誤嚥リスクを予測しえた封入体筋炎の一例  
第40回日本リハビリテーション医学会東北地方会 秋田県秋田市 2016年9月3日  
○佐藤義朝、大井清文、高橋 明、村上英恵、村田深雪
5. 重度の嚥下障害を伴った脳出血患者において、気管カニュレの影響を高解像度マノメトリーにより評価した一例  
第22回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術集会 新潟県新潟市 2016年9月24日  
○佐藤義朝、阿部信之、大井清文、高橋 明
6. 重度の嚥下障害を伴った脳出血患者において、気管カニュレの影響を高解像度マノメトリーにより評価した一例  
第21回岩手神経疾患研究会 岩手県盛岡市 2016年12月9日  
○佐藤義朝、大井清文
7. 食後低血圧による意識消失を繰り返し、 $\alpha$ -グルコシダーゼ阻害薬内服によりリハビリ継続が可能となった多発性脳梗塞の1例  
第40回日本リハビリテーション医学会東北地方会 宮城県仙台市 2017年3月11日  
○佐藤義朝、大井清文、高橋 明、村上英恵、村田深雪
8. 経管栄養患者への管理栄養士の関わり  
盛岡地区病院栄養研究会 岩手県盛岡市 2017年2月23日  
○高橋 静恵

## イ 看護部

9. 認めあえる環境づくりを目指した看護体験発表会の実践効果  
リハビリテーション・ケア合同研究大会 茨城 2016 つくば市 2016年10月27日,28日  
○竹村昌子
10. 療養環境を整えるための5S活動の導入効果  
リハビリテーション・ケア合同研究大会 茨城 2016 つくば市 2016年10月27日,28日  
○齋藤由利子
11. リハビリに取り組むための環境作り  
第9回岩手看護学術集会 岩手県滝沢市 2016年11月5日  
○片岡恵美
12. 日常生活動作獲得のための目標達成プログラムの活用  
回復期リハビリテーション病棟協会 第29回研究大会 in 広島 2017年2月10日,11日  
○佐藤宏之, 古舘郁子, 山本晶子, 大井清文
13. 重度球麻痺患者に対する完全側臥位法における家族指導の留意点  
回復期リハビリテーション病棟協会 第29回研究大会 in 広島 2017年2月10日,11日  
○神野孝幸, 後藤由美, 下野心, 山本晶子, 佐藤育美, 佐藤義朝, 大井清文
14. 当センターの脳卒中患者における入院3カ月後のFIM 予後予測式の精度検証  
回復期リハビリテーション病棟協会 第29回研究大会 in 広島 2017年2月10日,11日  
○山口歩, 高階欣晴, 山下浩樹, 上斗米律子, 山本なお子, 大井清文

## ウ 機能回復療法部

### 理学療法科

15. 卓球をきっかけに社会参加活動に繋がった脳卒中片麻痺症例 ～生活期リハビリテーションにおけるPTの役割～  
第51回日本理学療法学会 北海道札幌市 2016年5月27日～29日  
○高階欣晴, 大井清文
16. 基本動作・歩行能力向上を目指した頸髄損傷患者への関わり  
第18回岩手県理学療法学会 岩手県盛岡市 2016年8月27日,28日  
○内藤里歩, 渡辺幸太郎, 関公輔, 佐藤英雄
17. 重度片麻痺患者の歩行自立に関わる要因の検討 –車椅子移乗動作自立に着目して–  
第18回岩手県理学療法学会 岩手県盛岡市 2016年8月27日,28日  
○工藤寛智, 高階欣晴, 山下浩樹, 関公輔
18. 振動刺激トレーニング装置の周波数の違いが身体機能に及ぼす影響  
第18回岩手県理学療法学会 岩手県盛岡市 2016年8月27日,28日  
○芦埜奈津子, 山口美沙都, 柴田あすか, 山下浩樹, 高階欣晴, 関公輔
19. 健常者における背臥位から端座位までの起き上がり動作の特性 –ベッド上での背臥位の位置と肩関節外転角度に着目して–  
第18回岩手県理学療法学会 岩手県盛岡市 2016年8月27日,28日  
○沢田行秀, 佐々木大将, 渡辺幸太郎, 高階欣晴, 山下浩樹, 関公輔
20. 当センターにおける脳卒中片麻痺者の長下肢装具作成時期と運動機能との関連性 –MOAとFIM運動項目に着目して–  
リハビリテーション・ケア合同研究大会 茨城 2016 つくば市 2016年10月27日,28日  
○村上敏昭, 高階欣晴, 山下浩樹, 関公輔, 大井清文
21. 当センターにおける四肢麻痺・対麻痺患者の歩行自立の有無と運動機能の関連性 ～Motor of Agesの視点から～  
第34回東北理学療法学会 秋田県秋田市 2016年11月12日,13日  
○佐藤弘樹, 関公輔, 佐藤英雄
22. 当センターにおける四肢麻痺・対麻痺患者の歩行自立の可能性について ～Motor of Agesの項目別通過率からみた考察～  
第14回日本神経理学療法学会学術集会 宮城県仙台市 2016年11月26日,27日  
○佐藤弘樹, 小野寺一也, 関公輔, 佐藤英雄
23. 災害リハビリテーション支援活動の教育的意義について –岩手県岩泉町への支援活動の経験を通して–  
回復期リハビリテーション病棟協会 第29回研究大会 in 広島 2017年2月10日,11日

○佐藤英雄 鷹觜悦子 阿部信之 大久保訓 諸橋勇 大井清文

#### 作業療法科

24. 岩手県リハビリテーション支援センターとしてのシーティング事業の取り組みについて  
第50回日本作業療法学会 北海道札幌市 2016年9月9日～11日  
○和賀祐樹, 青木俊明, 菊池浩子, 下杉佑子, 大久保訓
25. 平成27年度「岩手県シルバーリハビリ体操3級指導者育成事業」の取り組みについて  
リハビリテーション・ケア合同研究大会 茨城 2016つくば市 2016年10月27日,28日  
○照井恵利香, 山崎麻友, 大森あゆみ, 山口美沙都, 渡辺幸太郎, 村上敏昭, 渡部祐介  
佐藤英雄, 諸橋勇, 菊池浩子, 青木俊明, 大井清文, 高橋明
26. 当センターにおける車いす作製開始の時期と目安について～車いす診系の役割について検討～  
リハビリテーション・ケア合同研究大会 茨城 2016つくば市 2016年10月27日,28日  
○木附沢一茂, 大久保訓, 山本晶子, 大井清文
27. 普代村介護予防事業における個別面談の取り組みについて  
リハビリテーション・ケア合同研究大会 茨城 2016つくば市 2016年10月27日,28日  
○山崎麻友, 渡部祐介, 菊池浩子, 青木俊明, 大井清文  
松頭育子(普代村地域包括センター) 関裕也(訪問リハビリテーションあすみ)
28. ～ラーメンを右手で食べたい～食事に対し意欲的であり自助具の箸での食事が出来た一例  
第30回岩手県作業療法学会 岩手県釜石市 2016年10月30日  
○石川侑利奈, 大久保訓, 長山悦子, 大森あゆみ
29. 当センターにおける入院患者の疾患別うつ状態の変化と傾向  
第30回岩手県作業療法学会 岩手県釜石市 2016年10月30日  
○遠藤梢, 小笠原未久, 山本晶子
30. 語りの中から大切な作業を模索し役割の再獲得が出来た一症例  
第30回岩手県作業療法学会 岩手県釜石市 2016年10月30日  
○藤村彩佳, 大久保訓, 山崎麻友
31. 症例の心理面に着目して介入した事で自宅退院に繋がる事が出来た症例  
第30回岩手県作業療法学会 岩手県釜石市 2016年10月30日  
○細川一樹, 山本晶子, 和賀祐樹
32. 当センター入院患者における目標達成プログラムの有用性について～SDS変化率との関係性を通して～  
回復期リハビリテーション病棟協会 第29回研究大会in広島 2017年2月10日,11日  
○小笠原未久, 遠藤梢, 山本晶子, 大井清文
33. 台風10号被害による岩泉町災害時リハ支援活動報告  
平成28年度岩手県保健福祉環境行政セミナー 岩手県盛岡市 2017年2月17日  
○大久保訓, 関公輔, 渡部祐介, 小野寺一也, 鷹觜悦子, 佐藤英雄, 諸橋勇, 五日市治  
菊池浩子, 青木俊明, 大井清文(いわてJRATいわてリハビリテーションセンター)
34. 岩手県シルバーリハビリ体操2級指導者養成の意義と実施について  
平成28年度岩手県保健福祉環境行政セミナー 岩手県盛岡市 2017年2月17日  
○照井恵利香, 大森あゆみ, 山崎麻友, 山口美沙都, 村上敏昭, 渡辺幸太郎, 渡部祐介  
阿部信之, 佐藤英雄, 諸橋勇, 菊池浩子, 青木俊明, 大井清文

#### 言語聴覚療法科

35. 失語症と失算を呈し、理解・表出能力と計算能力の改善に解離があった一症例  
第17回日本言語聴覚学会 京都府京都市 2016年6月10, 11日  
○神里美咲, 阿部信之, 大井清文
36. 定期的なVF・VE検査による訓練手技の評価から嚥下機能が更に改善したWallenberg症候群の1例  
第22回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会 新潟県新潟市 2016年9月22日～24日  
○渡部小麦, 阿部信之, 佐藤育美, 佐藤義朝, 大井清文

## B 院内研究発表会

院内職員の研究への意識付けや、理解のために毎年、年2回実施している。

### ア 第45回院内研究発表会 2016年8月10日 17:30~18:30

1. 療法環境を整えるための5S活動の導入効果  
看護部 ○齋藤由利子, 米澤直子, 後藤由美, 古舘郁子
2. 三次元動作解析装置を用いた食事動作の検討  
機能回復療法部 ○高階欣晴, 前山裕樹, 小野寺一也, 山本晶子
3. 当センターにおける車いす作成開始の時期と目安について~車いす診系の役割についての検討~  
作業療法科 ○木附沢一茂, 大久保訓, 山本晶子, 大井清文 (診療部)
4. 平成27年度岩手県シルバーリハビリ体操3級指導者養成事業について  
地域支援部 ○照井恵利香, 大森あゆみ, 山崎麻友, 山口美沙都, 村上敏昭, 渡辺幸太郎  
渡部祐介, 佐藤英雄, 諸橋勇, 菊池浩子, 青木俊明, 大井清文, 高橋明

### イ 第46回院内研究発表会 2017年2月22日 17:30~18:30

1. 重度球麻痺患者に対する完全側臥位法における家族指導の留意点  
看護部○神野孝幸, 下野心, 後藤由美, 療法部 佐藤育美, 山本晶子診療部佐藤義朝, 大井清文
2. 卓球をきっかけに社会参加活動に繋がった脳卒中片麻痺症例~生活期リハビリテーションにおけるPTの役割~  
理学療法科 ○高階欣晴 診療部 大井清文
3. 当センターにおける脳卒中失語症患者の聴覚機能評価の検討(雑音下聴覚機能について)  
言語聴覚療法科○阿部信之, 佐藤育美, 後藤理佳子, 神里美咲, 渡部小麦診療部:大井清文  
岩手県立大学 社会福祉学科:米本清
4. 台風10号被害による岩泉町災害時リハ支援活動の実際  
いわてJRAT:○関公輔, 大久保訓, 渡部祐介, 小野寺一也, 鷹觜悦子, 佐藤英雄, 諸橋勇  
五日市治, 大井清文

## C データベース構築及び運用 (予後予測システムの構築)

- ア データベースソフトの構築
- イ データーベース入力手順の取り決め及び運用
- ウ データーベース入力 (約3912症例)
- エ 予後予測式の作成および精度の検討

## D 動作解析装置運用に関して

動作解析装置の臨床応用を可能にし、より客観的なデータを示すことにより、リハ医療のエビデンスを構築する。そのために十分に器機やデータ分析の方法を理解する必要がある。

国際医療福祉大学大学院教授山本澄子先生を4回招聘し指導受ける。

(2016年6月24日、9月15日、12月9日、2017年3月9日)

- ア 機器の精度の検討
- イ 測定法、データ分析の指導を受ける (片麻痺患者の運動解析、健常者における運動機能分析)
- ウ 健常者、患者の動作計測
- エ 学会等で発表
- オ センター職員への教育

## E 研究開発部からの派遣

県外で行われている、イベントや研修会に参加し最新の知識を吸収し、研究や臨床、県内専門職への情報提供に生かしていく。

### ア 第43回国際福祉機器展 2016年10月13日~14日 東京

作業療法科 吉田健 医療相談科 阿部泰子

### イ 「Honda 歩行アシスト」製品体験会 2016年6月17日 盛岡

理学療法科 佐藤弘樹



## F 研究開発部センター内情報発信活動

ア 研究開発部マガジン（2回／月、院内向け）No. 246～269 発行

イ これってな～に??（1回／月 院内向け）No. 64～74 発行

院内向けに、最新の研究や学会情報などを発信し、研究活動に活かしてもらう。

- ・ホームページの紹介
- ・リハニュース 福祉機器の紹介
- ・トピックス
- ・学会、研修会情報
- ・研究発表演題の紹介

## G 研究活動の支援

ア 文献検索システムの管理、運営、マニュアル作成

イ 動画編集システムの管理、運営

ウ 統計処理のアドバイス

エ 統計勉強会

## H 現在進行中の研究

臨床の中で継続的に検討しているものも含めて、下記のような継続研究テーマを持っている。

ア 脳血管障害者、頭部外傷者における高次脳機能障害の評価に関する基礎研究

イ モーターコントロール（運動制御）に関する基礎研究

ウ 四肢切断者に関する義手、義足の適合に関する検討

エ C I 療法に関する研究

オ 嚥下障害に関する基礎研究（V F 検査も含む）

カ 福祉用具、福祉機器に関する調査、研究

キ 脳卒中片麻痺患者の動作分析

ク 脳卒中片麻痺患者の機能回復に関する予後予測

コ 失語症者における聴覚機能に関する研究

サ 車いすシーティングにおける基礎的研究

## I その他

ア いわて医療機器事業化研究会研修会参加、協力

イ 先進医療機器等開発プロジェクトへの協力

ウ リハビリテーションの提供に関わる総合的な調査研究（リハビリテーション医学会）

エ 戦略的研究開発推進事業研究実施プロジェクトへの参加・協働研究

オ 県立大学と共同研究 ①ゲームを利用した舌抵抗訓練の検証

②嚥下リハビリテーションロボット開発

③失語症と聴覚機能の評価

カ ロボットスーツを使用した臨床への応用